

NPO法人 大谷石研究会

ooyaishi

大谷石の魅力を全国のみなさんへお伝えする大谷石研究会の広報誌

大谷石は世界に羽ばたく： ニューヨーク編

NPO法人 大谷石研究会
会員 高橋 卓

『大谷石を世界へ...』

私が大谷石に関りを持たせて頂いた十六年になりますが、関れば関るほど、大谷石は世界に羽ばたくべき石材だと確信を深めています。大谷石は色彩・風合い・効能等無限の可能性を秘めた素晴らしい石材です。

現在世界に流通している石材の殆どは花崗岩や大理石で、大谷石などの凝灰岩は...な状況です。風化や強度の問題でしょうか。弊社(KANEHON)では過去に韓国・中国・アメリカへ輸出の実績はありますがそのすべてが日本の方の設計またはプロデュースです。超えるべきハードルは高いですが海外から受けたお仕事を、感動を与えられるような製作で普及に繋げようと努力し



KAPPO MASA 右端FLOWERPOT 高さ1.8m 重量800kg



BAR MASAにて雅氏と

山崎雄之進様のご紹介により雅さんから大谷石壁材や大谷石製大型フラワーポットのご依頼を頂いたのが最初でした。雅さんは栃木県出身の、海外で大活躍しているオーナーシェ



ガゴシアン ギャラリー (地下KAPPO MASA)



BAR MASA 内装(2004年)

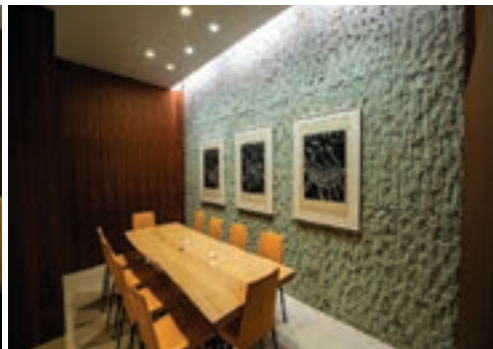
『KAPPO MASA』では内壁全体に大谷石を施して頂きました。一枚の大きさは約2フィート×4フィート、厚み3インチ、重量80kg。

『KAPPO MASA』では内壁全体に大谷石を施して頂きました。一枚の大きさは約2フィート×4フィート、厚み3インチ、重量80kg。

『KAPPO MASA』では内壁全体に大谷石を施して頂きました。一枚の大きさは約2フィート×4フィート、厚み3インチ、重量80kg。



KAPPO MASA 内装



KAPPO MASA 内装



MASA 店内